

平成 28 年度 海外青少年交流事業
「高校生のための生き物調査体験ツアー in 台湾」
募集要項

1. 目的 本事業は、次世代を担う高校生が海外の未知の自然環境に触れることで、自然科学分野での視野を広げると共に、現地の高校生との交流により、国際的な感覚を身につけることを目的としています。
2. 研修企画 公益財団法人国際花と緑の博覧会記念協会
兵庫県立人と自然の博物館
台北市立動物園
財団法人台北動物保育教育基金会
3. 旅行企画・実施 株式会社 J T B 西日本
4. 事業内容 (1) 訪問先
台湾（台北市周辺）
(2) ツアー実施期間
平成 28 年 7 月 24 日（日）～平成 28 年 7 月 30 日（土）
(3) 内容（詳細は別紙参照）
日本からの参加高校生および台湾からの参加高校生に対して、兵庫県立人と自然の博物館研究者（4 名）および台北市立動物園（4 名）計 8 名が指導役として付き、研究員それぞれの専門分野の視点から、台湾北部のフィールドで動物や植物、昆虫を観察、採集するなど、生物相調査を実施し、本格的な生態研究を体験すると共に、海外の青少年との交流によるコミュニケーション能力の向上を図ります。
(4) ツアー同行者（日本からは 8 名）
■兵庫県立人と自然の博物館 研究者 4 名
 - ・太田 英利（自然・環境評価研究部 研究部長）
脊椎動物，特に両生類・爬虫類が専門。分類、生態から化石まで幅広く研究。
 - ・秋山 弘之（自然・環境評価研究部 主任研究員）
コケ植物の分類学が専門。特に東南アジアに分布する蘚類を専門に研究。
 - ・高野 温子（自然・環境評価研究部 主任研究員）
花の咲く植物（被子植物），特にショウガの仲間やシソの仲間の分類・生態を研究。
 - ・山内 健生（自然・環境評価研究部 主任研究員）
昆虫の分類・生態が専門。特に蛾や土壌動物が得意。

■公益財団法人国際花と緑の博覧会記念協会 職員 3名

■看護師（日本人）1名

■ほかに台湾市立動物園研究者 4名が現地で調査指導にあたります。

※JTB西日本社員は添乗しませんが、バス移動などには現地ガイドがご案内します。

5. 募集人員 20名（ただし、研修企画団体の簡単な審査の上、参加者を決定します。最少催行人員10名。）
6. エントリー資格
- (1) 高等学校1年生～高等学校3年生までの生徒
 - (2) 規律ある団体生活ができること
 - (3) 7日間の共同生活に適応できる良好な健康状態であること
 - (4) 渡航に必要な手続き（旅券取得）を6月末日までに行えること
 - (5) 選考会（1回）、事前学習会（1回）、事後学習会（2回）の計4回への参加が可能な事
 - (6) 本事業の応募に保護者の同意を得ていること。
7. 旅行代金 お一人様 126,800円（税込）
- ・燃油サーチャージ、空港諸税を含みます。（旅行契約成立後に、燃油サーチャージが増額または減額・廃止されても、増額分の追徴ならびに廃止を含む減額分の払い戻しはありません。）
 - ・旅券取得費用、国内の交通費、現地での食事代の一部等は別途自己負担
8. 応募書類 以下2点を花博記念協会ホームページからダウンロードしてください。
- (1) エントリー申請書 1枚
 - (2) 健康調査および同意書 1枚
9. エントリー書類提出先
- 封筒に書類2点を入れて、以下の宛先まで郵便にてお送りください。
- 〒538-0036
大阪市鶴見区緑地公園2-136
(公財) 国際花と緑の博覧会記念協会
企画事業部第二課 「生き物調査体験ツアー」係
10. エントリー締切 平成28年5月20日（金）必着
エントリーを締め切りました。

11. **選考方法** 応募書類での1次審査、指定日に大阪市内に集合しての、簡単な作文および集団面接による選考会（2次審査）を経て、参加者を決定いたします。
12. **参加者選考会（作文および面接による2次審査）**
（1）日時：平成28年6月5日（日）10時～16時
（2）場所：ユーズ・ツウ 会議室
住所 大阪府大阪市北区梅田2-1-18 富士ビル 3F
電話 06-6345-1325
（3）持ち物：筆記用具（鉛筆（シャープペンシル）、消しゴム、黒ボールペン）、腕時計（アラーム機能の無いもの）
（4）その他：・午前中に作文、午後に集団面接を予定しています。
面接の順番によっては午後に待ち時間を頂きます。
・時間および場所は予定です。別途、エントリーいただいた方にご案内いたします。
13. **参加者の決定・通知**
平成28年6月17日（金）までに、自宅に結果およびJTB西日本海外旅行西日本支店より旅行に関する詳細をお送りいたします。
14. **事前学習会について**
（1）日時：平成28年7月10日（日） 10時～16時
（2）場所：兵庫県立人と自然の博物館
兵庫県三田市弥生が丘6丁目
電話：079-559-2001（代表）
（3）持ち物：筆記用具
15. **事後学習会について**
（1）日時：1回目 平成28年8月8日（月） 10時～16時
2回目 平成28年8月22日（月） 10時～16時
（2）場所：兵庫県立人と自然の博物館
（3）持ち物：筆記用具
（4）その他：8月22日の事後学習会までに事後感想文をご持参いただきます。
16. **その他**
（1）本事業の活動の様子を撮影した写真・ビデオは、花博記念協会および兵庫県立人と自然の博物館のホームページやパンフレット、チラシ、報道機関の記事など、広報等に使用・掲載する場合がございます。予めご了承ください。
（2）持病やアレルギー等をお持ちの方は、健康調査カードにその旨、ご記

入ください。事前学習会等で個別にご相談させていただきます。
(3) 天候不順等により、予定していた日程やカリキュラムが急遽変更になることがございます。予めご了承ください。

17. エントリーおよび研修内容に関する問い合わせ先

公益財団法人国際花と緑の博覧会記念協会 企画事業部第二課

(電話) 06-6915-4513 (FAX) 06-6915-4524

(E-mail) hanahakupps@expo-cosmos.or.jp

(受付時間) 平日 9:30 ~ 17:30

「高校生のための生きもの調査体験ツアーin台湾」内容詳細

■現地での日程（予定）

日次	月日 (曜)	地名	現地時刻	交通機関	予 定	食事
1	7/24 (日)	関西国際空港 桃園国際空港 台北市内 動物園	11:10 13:05	BR177 専用バス	関西国際空港 集合 関西国際空港 発(エバー航空) 桃園国際空港 着 動物園へ移動 台北市立動物園 ■日台高校生 対面 ■昆虫トラップ等製作・設置 (動物園 泊)	昼: レストラン 夕: 弁当 (花手配)
2	7/25 (月)	動物園 台北市内 東眼山	午前 午後	専用バス	■昆虫トラップ確認・撤去 台北市立動物園 発 東眼山自然教育センター 着 ■オリエンテーション (東眼山自然教育センター 泊)	朝: 動物園内レストラン (花手配) 昼: レストラン 夕: 研修施設 (花手配)
3	7/26 (火)	東眼山	午前 午後 夜		■生きもの調査 ■同定および標本づくり等 ■夜間生きもの観察(ライトトラップなど) (東眼山自然教育センター 泊)	朝: 研修施設 (花手配) 昼: 研修施設 (花手配) 夕: 研修施設 (花手配)
4	7/27 (水)	東眼山 台北市内	午前 午後	専用バス	東眼山自然教育センター 発 台北市内 各所見学 ■龍山寺周辺、台湾国立博物館等 (ホリデイ イン イースト台北 泊(2名1室利用))	朝: 研修施設 (花手配) 昼: 弁当 夕: レストラン
5	7/28 (木)	台北市内 動物園	午前 午後 夜	専用バス	ホテル 発 台北市立動物園 着 ■生きもの調査 ■同定および標本づくり等 ■夜間生きもの観察(ライトトラップなど) (動物園 泊)	朝: ホテルビュッフェ 昼: 弁当 (花手配) 夕: 弁当 (花手配)
6	7/29 (金)	動物園 台北市内	午前 午後	専用バス	■生きもの調査 ■高校生 お別れ 台北市内ホテルへ移動 (ホリデイ イン イースト台北 泊(2名1室利用))	朝: 動物園内レストラン (花手配) 昼: 弁当 (花手配) 夕: レストラン
7	7/30 (土)	台北市内 桃園国際空港 関西国際空港	午前 13:35 17:15	専用バス BR130	空港へ移動 桃園国際空港 発(エバー航空) 関西国際空港 着 解散	朝: ホテルビュッフェ 昼: 各自(空港内) 夕: 機内

(花) = 公益財団法人国際花と緑の博覧会記念協会

- ◆宿泊場所: 1日目・5日目→動物園、2日目・3日目→東眼山自然教育センター
4日目・6日目→ホリデイ イン イースト台北 (1・2・3・5日目の宿泊場所は花博記念協会による手配)
- ◆利用航空会社: エバー航空(エコノミークラス)
- ◆添乗員: JTB 西日本社員は添乗しません。ただし、兵庫県立人と自然の博物館研究員4名、花博記念協会スタッフ3名、看護師1名が日本から同行します。
- ◆お食事: 朝6回/昼6回/夕6回 (内 朝4回/昼3回/夕4回 は花博記念協会手配)

■調査実施体制

- ・参加者をいくつかのグループに分けて、フィールド調査を実施します。
- ・動物園内での滞在は野生動植物の観察を目的としており、飼育動物の見学は、園内移動中に見ることができますが、カリキュラムとしては実施しません。

■台北市立動物園について

台北市立動物園は台北市南東部の山裾に広がる総面積 165ha、一般公開されている面積だけでも 90ha の敷地を持つアジア最大級の動物園です。

広大な園内には野生の動植物も多数生息しており、それらを観察するための遊歩道や湿地ビオトープなども整備されています。現地の生き物を調査するには非常に適したフィールドです。

■宿泊について

野外活動プログラムとなりますので、台北市内ホテルでの宿泊（4日目、6日目の夜）以外は、研修センターなどの部屋にマットおよび寝袋を使用しての簡易宿泊となります。ただし、夜間生物観察など普段体験する事のできない魅力的な野外活動カリキュラムに参加することができます。